

充実、近年利用者が増加となつている高齢者の在宅生活の支援としての除雪サービスや配食サービスの地域支援事業も積極的に実施しております。

また、介護保険サービス事業に対する助成事業として、社会福祉協議会が運営しております居宅介護支援事業所、通所介護事業所（デイサービス）、訪問介護事業所（ホームヘルプ）の運営に対する助成を引き続き実施し、要介護者やその家族への支援体制の充実を図るとともに、高齢者の生活支援や福祉施策の推進に努めてまいります。

高齢者の親睦、奉仕活動、生きが



い確保や健康増進に取り組んでいる「共楽クラブ」、豊富な知識や経験、技能を生かし活動している「高齢者事業団」に対し、今年度も助成を継続し高齢者の活力ある地域社会づくりの推進に努めてまいります。

今後の高齢者福祉行政の推進には、介護・医療・保健・福祉の連携による地域包括ケアの推進が最も重要となることから関係機関との連携を更に強化してまいります。

介護保険事業は、平成21年度より「後志広域連合」が保険者となり3年が経過いたしました。今年度より第五期計画のもと事業を実施いたしますが、これまで同様に後志広域連合と業務分担し、連携を図りながら業務の推進に努めてまいります。

また、第五期計画の第一号被保険者（65歳以上）の保険料は、今後、3年間の給付費をもとにした試算では月額約3千700円程度となりましたが、基金を投入し月額3千円とし、後志広域連合内で一番低い設定となっております。

後志広域連合としては、平成27年度（第六期）からの保険料統一を目標に検討委員会の中で協議を重ねており、介護保険事業の運営につきましても後志広域連合と密に連携を図りながら業務の実施に努めてまいります。

■健康づくり

健康づくりは、町民一人ひとりが自らの健康を自らがつくることを意識し、食生活、運動、休養などの正しい生活習慣を習得し実践することにあります。

また、妊娠期から始まるそれぞれのライフステージにあった心と体の健康づくりが必要であり、乳幼児期から望ましい生活習慣を身につけることは、生涯にわたる健康づくりの基礎となります。

生命が宿る妊娠期において、健診費用の心配なく安心して出産を迎えるよう、分娩までに必要な健診費用助成を引き続き実施するほか、安心して山麓地域で分娩ができるよう、俱知安厚生病院産婦人科医師確保対策に関する助成も引き続き実施いたします。乳幼児期においては、訪問、各種教室、健診等の実施や疾病予防の定期予防接種に加え、疾病の重症化防止、まん延防止として任意予防接種費用の全額助成を引き続き実施してまいります。

以上、各種事業の推進を積極的に推進するとともに、子供たちの心と体が健やかに成長するよう、子育て支援センター、保育園、教育委員会との連携強化に努めてまいります。生活習慣病の予防を目的とする

では、長年にわたり基盤整備、土作りが大切であります。

本年も、地力増進のための土づくり推進事業補助、肥料の低減、景観作物としての効果の大きい緑肥作物の作付けに対して、種子代の一部を助成する緑肥作推進事業補助を行います。さらに肥料の低減、品質の向上や適正な施肥設計のために土壌分析事業を継続し、生産履歴を管理するなど安心・安全・高品質な農産物の生産を進めるための助成を行います。

農業振興奨励施策につきましては、本年度も農業者ならびに関係機関の強い要請に応え、種馬鈴薯生産対策事業補助、小麦作・大豆作推進事業補助、てん菜作推進事業補助、そ菜作推進事業補助など、農業生産力の向上や経営の体質強化を支援してまいります。中でも、本町農業の基幹作物であります馬鈴薯生産対策事業につきましましては、生産者と関係団体が一体となつて、取り組んでいる結果、品質・生産量とも、よりよい結果が現れており引き続き助成してまいります。

担い手対策としましては、京極町で農業・林業・商業を行いたいという人に対しての体験実習費を助成する「産業担い手育成事業」を行い京極の産業を理解してもらい、新規就

「特定健診」は、「ミニドック検診（基本健診、各種がん検診等）」と合わせて年2回実施しており、特定健診の結果によると「糖尿病予備軍」の割合が非常に高いことから、今年度におきましても健診の必要性の啓発を行い国民健康保険との連携を強化し受診率の向上に努めてまいります。

メタボリックシンドロームの基準となる肥満は、糖尿病だけでなく様々な病気の原因となり、健康的な食生活の実践が重要となります。食運動、休養などバランスの取れた生活習慣の改善のため、健診後の健康相談、健康教室や特定保健指導の充実を図り、国保診療所との連携を密にし一人ひとりが健康に関心を持ち、自分の健康づくりを実践できるよう支援を行つてまいります。

また、町内の食に関わる方々の協力により発足した「栄養士連携協議会」の活発な活動を支援し、食からの健康づくりの推進を図つてまいります。

依然として死亡率の高い「がん」は、診断と治療の進歩により検診による早期発見、早期治療が可能となつておりますが受診率が低い状況にあります。

昨年同様、受診率の低い子宮がん・乳がん・大腸がん検診について、

業へのきつかけ作りにしてもらいます。また、担い手の農業機械や施設の整備に対しての経営体育成交付金事業を進めてまいります。

農地・水保全管理支払い交付金事業につきましましては平成24年度、7団体が取り組み、農業用排水路の保全、草刈、ゴミ拾い、花壇作り、カレンダー作りなど地域ぐるみで様々な活動を行います。

次に、生産性向上のためには農業基盤整備が重要であり、羊蹄京極地区中山間地域総合整備事業につきましましては本年、客土・区画整理・農道整備などの工事が行われます。

また昨年に続いて、交付金事業で七区地区排水路整備工事・四区地区排水路整備工事を行います。町単独事業としては小規模土地改良事業、暗渠排水の被覆材としてのチップ材使用について継続して補助を行います。

■畜産振興

酪農をとりまく環境は、牛乳・乳製品等、畜産物の需要や価格の低迷、さらに飼料価格の高騰など厳しい局面を迎えております。酪農振興のためには、自給飼料生産の推進、放牧機能強化、乳牛改良による生産性の向上、耕畜連携による循環型農業の

産業関係

■農業振興

我が国の食と農林漁業は所得の減少、担い手不足の深刻化や高齢化といった厳しい状況に直面しております。農山漁村も活力が低下しており、食と農林漁業の競争力・体質強化は

5歳刻みの対象者に「無料クーポン」の配付事業を今年度も継続し受診率の向上に努めます。

また、今年度は従来より希望のありました前立腺がん検診について新規事業として予算計上し、唯一予防が可能と言われる子宮頸がんに対する任意予防接種費用の全額助成についても継続実施してまいります。

全町民を対象として、重症化の防止及びまん延防止となるインフルエanza予防接種費用助成を昨年同様に実施するとともに、高齢者や基礎疾患のある方を対象とした「肺炎球菌ワクチン」の接種費用の一部助成についても継続実施してまいります。

今年度におきましても、町民の全ての方が健康で安心して生活できるよう保健・医療・福祉の関係機関や健康推進員協議会等の関係団体と更に連携を図り、健康づくり・地域づくりの推進に努めてまいります。